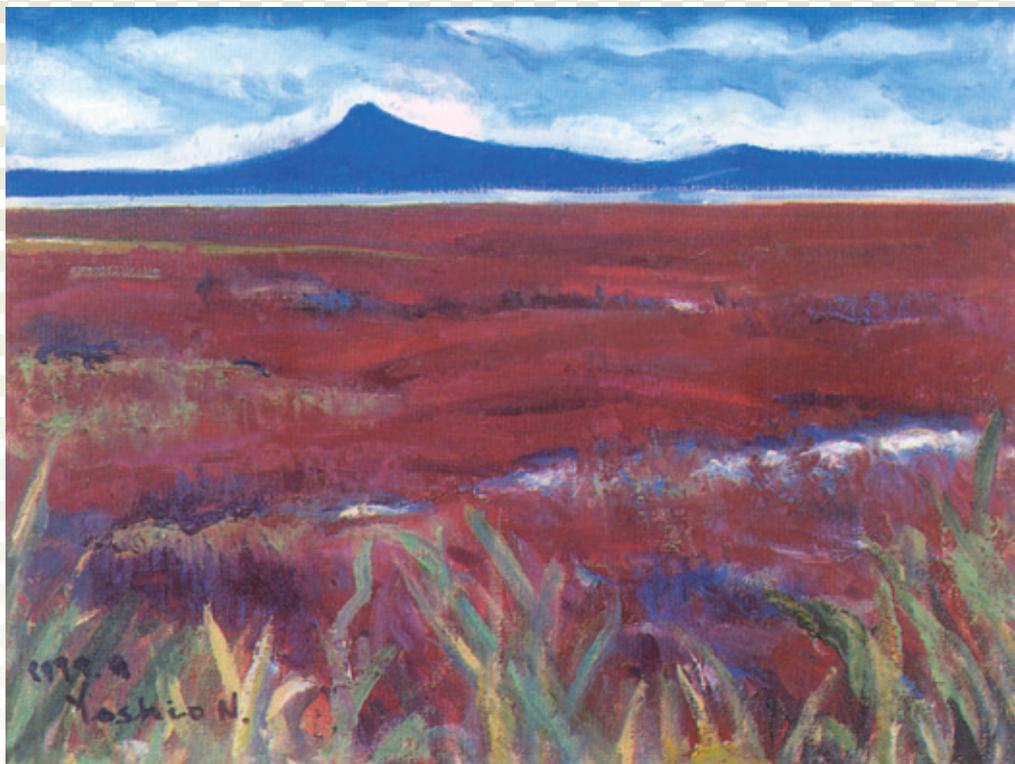


緑丘さっぽろ

100号記念号

第100号 ■平成28年1月1日
編集 ■緑丘会札幌支部広報委員会
札幌市中央区北5条西5丁目 sapporo55 3F
http://www.ryokyukai.com/
E-mail: ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp
印刷 ■岩橋印刷株式会社



サンゴソウに染まる能取湖
中澤嘉男〈昭和10年卒〉

平成28年(2016年) 緑丘会札幌支部

新年交礼会のご案内

●とき 平成28年2月11日(木・祝)

14:00 開会

14:30 鏡開き・乾杯

16:30 閉会

●ところ ホテルポールスター札幌 2階
(中央区北4条西6丁目 ☎241-9111)

●会費 5,000円



- ご招聘 永原和夫 先生(名誉教授)
小田福男 先生(名誉教授)
江口 修 先生(言語センター特任教授)
河森計二 先生(企業法学科教授)

*ご出席の方は各年度幹事または支部事務局宛1月28日(木)までにご連絡ください。

お問合せ・お申込み

緑丘会札幌支部 ☎/FAX: 011-231-6900
MAIL: ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

目次

ごあいさつ	2~3
「緑丘さっぽろ」100号の変遷	4
「緑丘さっぽろ」表紙絵のこと	5
100号によせて	6
会報と題字 —佐藤 満先生のこと—	7
地方創生と小樽商科大学	8
私とゴルフ/第9回 MBA交流会のご報告	9
支部会費Q&A	10

地域会ご紹介	10
お店紹介:五香飯店さま、ありがとう	11
昭和40年卒業(シマル会)50周年記念行事	12
卒業45周年記念同期会/卒業35周年記念同期会	13
緑丘ゴルフ会だより/活動報告囲碁/	
緑丘サテライトセミナー報告	14
女子部会報告/エバーグリーン講座日程	15
編集後記	16

あけましておめでとうございます

緑丘会札幌支部
支部長

山田二郎
(昭和45年卒)



昨年の6月13日の年次総会で札幌支部長に就任いたしました山田です。

前任の田尾先輩は6年間の長きにわたって支部長として在任され、その間、母校100周年記念募金活動並びに札幌支部の活性化活動を先頭に立って推進してくださいました。

新年交礼会開催日の固定化、女子部会の創設、職場単位での会員参加率向上活動、支部大会への現役教授ご招待、ゼミ・クラブ席の新設、現役学生の招待そして若手有志の会への支援等々「1000人出席を実現しよう」をスローガンにリーダーシップを発揮してくださいました。

その結果、昨年度の新年交礼会の参加者は345名、その内、平成年次卒が40%を超えるという近年にはない若さと活気にあふれる会合が実現できました。

今般、新しくスタートした新役員体制も、平成年次の女性会員を含めた多数の若い世代のメンバーにも参画してもらいましたので、皆様の益々のご支援を頂きながら「母校小樽商科大学の向上発展を質する」と「会員相互の親睦を図る」の役割が果たせるよう引き続き活動を続けて参ります。重ねて皆様のお力添えをお願い申し上げます。

新役員でこれまで数回、課題認識・意見交換等を行いました。

- 1 会費納入率向上と本部会費・支部会費のあり方
- 2 会員との相互連絡手段のあり方
- 3 有志の会との連携促進
- 4 年度幹事制度の鮮度アップ
- 5 親睦を主とするサークルの新設と参加者を増やそう
- 6 道内他支部との交流を深め連携して母校支援を実現する

等など…皆様からのご意見・アイデアも頂きながら支部運営に努めて参ります。

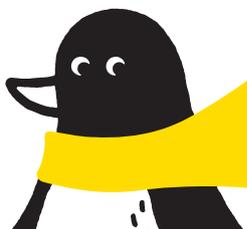
会員の皆様のご健勝でありますよう心より祈念して新年のご挨拶といたします。



新役員の顔ぶれ



迷ったら
よく止まる
ロングライフ
スタッドレス



よく粘る、長くもつ。
WINTER MAXX
ウインターマックス



小樽商科大学の挑戦 — 緑丘さっぽろ100号記念に寄せて



小樽商科大学長
和田 健夫

国立大学法人は、第二期中期目標・中期計画期間の最終年度に入り、第三期を迎えようとしています。大学を巡る環境が大きく変化するなかで、国立大学は、今後何をなすべきでしょうか。

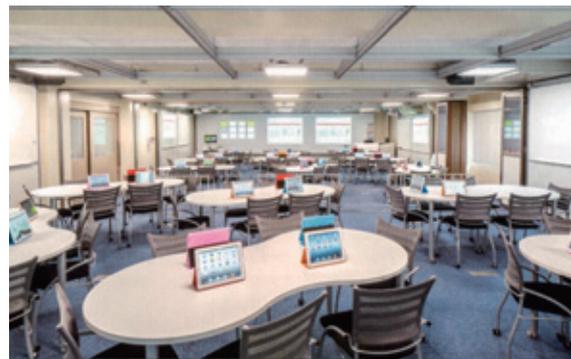
本学は、開学以来、「実学、語学、品格」を教育研究のモットーとし、実学重視のリベラル・アーツ的な教育を行ってきました。私は、この教育方針は、これからの時代、非常に重要な役割を果たしうると考えています。国立大学の人文社会科学系の学部・大学院に対して、組織の見直しの努力を求める文部科学大臣通知が出され、議論を呼んでいるところですが、本学の場合、いまだその社会的意義は失われておらず、これまで行ってきた教育研究を継続することこそがわれわれの責務と考えています。

本学は、2013年8月に「No.1グローバル宣言」を行い、北海道経済の発展を支える「グローバル人材」を育成する「グローバル・マネジメント副専攻プログラム」をスタートさせました。そのために本学OBで元日本オラクル会長の佐野力氏の多大なるご寄付を得て、他大学に例のない給付型の奨学金「佐野力海外留学奨励金」を創設いたしました。また、アクティブ・ラーニング、実践的な英語教育、産学官連携等の事業を学長のリーダーシップにより一体的に推進するために、教育研究支援組織「グローバル戦略推進センター」を立ち上げたところです。

緑丘会・小樽商科大学後援会との連携もなお一層推進しなければなりません。今後ともご支援・ご協力をお願いする次第であります。



佐野力海外留学奨励金授与式



AL (Active Learning) 教室

不動産の運営・売買・相続について
安心して相談できる
パートナーをお持ちですか？

ESSE

■取扱業務
不動産仲介／不動産買取／不動産再生事業提案／有効活用コン
サルティング／デューデリジェンス／プロパティマネジメント
(賃貸マンション・ビル・駐車場・賃貸地)／修繕工事・工事監理

株式会社 **エッセ**

本 社：札幌市中央区北4条西6丁目1番3号 北四条ビル2階 (電話) 011-242-2220

小樽支店：小樽市稲穂3丁目7番4号 朝日生命小樽ビル3階 (電話) 0134-23-4131

■ネットワーク 本社(札幌)／函館／小樽／釧路 <http://www.esse.co.jp>

専務取締役 平塚 彰 (昭和57年卒)／函館支店 小澤光弘 (平成22年卒)

「緑丘さっぽろ」100号の変遷

伊藤文二
(昭和46年卒)

前号では支部広報誌が「緑丘さっぽろ」となって100号を迎えるにあたり、当初より広報委員として活動させていただいた者として、主観的な立場から記事を書かせていただきましたが、客観的なデータ等を下に100号の歩みをたどってみたいと思います。

前号でも触れましたとおり、支部広報委員の編集による「緑丘さっぽろ」は、昭和52年6月1日、第2号として発行されました。当初はモノクロB5判4ページ、紙質も上質紙での発行でした。支部会員増強策の一翼を担っての発行だったため、会費を頂戴していない会員にも広く行き渡るように、との当時の野澤悌三幹事長(昭和17年卒)の強い意向もあり、2,000~2,500部程度を郵送で配送していたと記憶しております。教え子の皆さんが札幌支部で多く活躍されていた関係上、マッキンノン先生やステューラー教授など、北の外国語学校と言われた時代の面影を感じさせる記事が目立ちました。(2~12号)

翌53年からは6月=年次大会、10月=北海道寮歌祭、1月=新年交礼会の三大行事に合わせて年3回発行、平成14年より年2回の発行となりました。寮歌祭に向けての号では、小樽高商の羽織袴・破れ帽子姿の勇ましい姿が毎回紙面を飾りました。また、支部活性化委員会の提案により、新年交礼会では福引を実施することとなり、灯油ドラム缶1本をはじめ高級紳士服地の提供もあるなど、高度成長期ならではの景気の良さが伺え、スパイクタイヤからスタッドレスタイヤへの切り替えで、春先の街の様子が変わったことなども話題になりました。(6号)

小樽運河の存廃が話題になった50年代後半は特集記事が組まれるなど、小樽市も大学のキャンパス、という考え方が母校にも広まり、運河問題に対する教授陣の発言なども目立った頃です。(18~20号) 最近運河を訪れる機会がありましたが、メタンガスがポコポコ吹き出していた運河はすっかり姿を変え、観光客満載のミニクルージング船が走り、外国人旅行客の姿も目立ち、多

くの観光客で賑わう観光スポットに生まれ変わった様子を実感してきました。

28号から題字が毛筆に変わり現在に至っております。これは同窓の書家佐藤満氏(昭和24年卒)より無償で提供されたものです(7ページ/浪田美智枝さん(昭和45年卒)の記事に詳述)。昭和63年、エバーグリーン講座が始まり(33号)、平成2年には伊藤整文学賞がスタートしました。(39号) また、札幌経済センター内に「札幌サテライト」が開設(59号)、北海道寮歌祭は平成10年に閉幕しました。(63号)

66号から表紙に同窓の絵画同窓会「丘美会」会員によって絵画が提供され、母校創立100周年を記念した回を除いて現在まで毎回巻頭を飾っております。続いて67号には第1回サテライトセミナーの報告記事が掲載されました。サテライトセミナーは特に女性会員増強の一環として、支部活動のマンネリ化の打破の期待を担ってサテライト委員会を立ち上げ活動した成果が、平成11年11月6日の開催となって実を結んだ形となりました。現在では昨年9月に第26回目のセミナーへが催され、サテライト委員会発足を契機に、毎回女性会員による記事が掲載されるようになりました。

72号より年次大会・新年交礼会の開催に合わせて年2回の発行が定例化され、74号以降は12ページに増ページされ内容も豊富に、また充実化も図られ、85号からは全ページがカラー化され現在に至っております。

札幌支部長も池田昇一(昭和4年卒)→横山秀男氏(昭和8年卒)→野澤悌三氏(昭和17年卒)→横井久氏(昭和32年卒)→田尾延幸氏(昭和43年卒)→山田二郎氏(昭和45年卒)と各氏に引き継がれ、緑丘会オフィスも池田昇一事務所→島谷会計事務所→北海道マツダからそして現在の札幌サテライト内と、時代は移り変わりますが、この広報誌がますます進化し、支部会員のコミュニケーションツールの一翼を担って活用されます事を願って報告とさせていただきます。

「緑丘さっぽろ」表紙絵のこと

鈴木市男
(昭和32年卒)

「緑丘さっぽろ」の表紙を絵画で飾ることになったのは、平成11年10月発行の第66号からである。当時編集委員をしていた現札幌支部長の山田氏から『「緑丘さっぽろ」の表紙に丘美会の皆さんの絵を掲載してはどうか』という話があり、『それは有り難い、会員の励みになる』ということで実現されたのである。(但し、当会の本州会員は除いた)

最初の絵は当時丘美会の会長であり最長老の中澤さん(昭和10年卒)の『サンゴソウに染まる能取湖』からスタート、これまで各会員の絵を順番に掲載している。

第81号は中澤さんの『小樽風景』。この号には亡くなられた中澤さんを偲ぶ記事が掲載された。この絵は今、サテライトの札幌支部事務室に掲飾されている。

第91号の『キャンパスの思い出』は旧校舎の前庭に学生が団らんしている懐かしい風景であるが、これは唯一、札幌支部以外の東京在住の金栄昭夫さん(昭和33年卒)の作品である。これは丁度91号が創立100周年の内容であることから、周年行事中に学内で開催された丘美会展出品作品の中から選び掲載されたものである。

今まで掲載された絵画の内容は、小樽近郊の風景画や海外の旅で描いたもの、あるいは静物画など、油彩・水彩など多彩である。その中で第97号の平山さん(昭和28年卒)の『宙(そら)』というのが異色である。平山さんといえば、小樽運河や商大の昔の校舎を描いた絵や、山田・山本両学長の肖像画を描いたことで知られている方が、色彩も豊かな抽象画を出されたことには驚いた。後程ご本人から聞いた話では、昔は抽象画を描いていたとのことで、この絵も昔の作品だとのことであった。

いずれにしても、これからも丘美会員が順番に力作を提供していきたいと思う。

今回の100号の表紙には、66号にスタートした中澤さんの絵とさせていただいた。

号	画題	会員氏名と卒業年度
66	サンゴソウに染まる能取湖	中澤嘉男(昭和10)
67	光と影	鷺平勉(昭和25)
68	思い出	三浦正也(昭和15)
69	天狗山展望台から	松本晴雄(昭和16後)
70	旧小樽運河	星晃治(昭和16後)
71	塩谷の海	平山幹昌(昭和28)
72	オックスフォード郊外の河畔	鈴木市男(昭和32)
73	高嶋港	飯嶋耀(昭和32)
74	さいはての浮島ー利尻富士ー	栗村敏(昭和28)
75	曼荼羅群像	守分寿男(昭和32)
76	ヒマラヤ山系ナンガルバット山	星真太郎(昭和32)
77	盛花	木谷忠夫(昭和37)
78	小樽運河	近藤貞次(昭和33)
79	静物	小野寺泰三(昭和28)
80	小樽北運河	辻内祐二(昭和22)
81	小樽風景	中澤嘉男(昭和10)
82	函館「弥生坂より望む」	上杉一雄(昭和31)
83	太陽の光に包まれて	小林真美(平成5)
84	運河	峯田栄子(昭和45)
85	百合が原公園	鷺平勉(昭和25)
86	オタモイの海	平山幹昌(昭和28)
87	残雪の羊蹄山	栗村敏(昭和28)
88	手稲の春	飯嶋耀(昭和32)
89	チロスキー・クルムログ城(チェコ)を望む	鈴木市男(昭和32)
90	静物	小野寺泰三(昭和28)
91	キャンパスの思い出	金栄昭夫(昭和33)
92	緑丘100周年記念号(写真掲載)	
93	真夏の北大植物園	辻内祐二(昭和22)
94	マドンナ	木谷忠夫(昭和37)
95	風わたる	峯田栄子(昭和45)
96	静物	土井美代子(昭和44)
97	宙(そら)	平山幹昌(昭和28)
98	富岡教会と小樽展望	鈴木市男(昭和32)
99	張碓峠を望む	飯嶋耀(昭和32)
100	サンゴソウに染まる能取湖	中澤嘉男(昭和10)



平成11年8月5日から小樽で開催の第2回丘美会(札幌は7月7日から)

100号によせて

緑丘会札幌支部元支部長
横井 久
(昭和32年卒)



「緑丘さっぽろ」通巻100号の記念号発行おめでとうございます。

- (1)私が緑丘会札幌支部長に就任したのは平成9年の総会でした。21年総会迄12年間務めました。前任の野澤さんは8年でしたので、5割長かったこととなります。本部の事務局長の小塚君が同期、同じゼミだったので、つい辞めにくく長くなってしまいました。
- (2)当初の新役員は副支部長白井さん(昭和28年卒)、幹事長中本君(昭和32年卒)、副幹事長宮崎君(昭和33年卒)をはじめ若手の元気の良い人達が就任いたしました。(当時の「緑丘さっぽろ」にはそう書いてありました。)
- (3)とは言うもののスタートはドタバタでした。次年の最初の新年交礼会の会合を私が欠席してしまったのです。前立腺肥大の手術で入院してしまったからです。あわてて挨拶原稿を作り白井副支部長に頼んで読んでもらいました。
- (4)それから5日後、今度は白井副支部長が突然事故で亡くなりました。後任の人事は中本副支部長、宮崎幹事長でした。
- (5)80周年記念募金があったのは私が幹事長のときでした。90周年募金、サテライト募金は支部長になってからで、よく募金にはつき合されました。これらの資金は「国際交流及び学術振興助成金」として毎年学校に助成されています。
- (6)最近では女子学生が多くなりました。秋山学長の時でした。助成金で成績優秀者を表彰するので緑丘会で立ち会ってくれと言われて、学校に行ってきました。10名ちよっとの表彰者が学長室に集まっておりました。ところがそのほとんどが女子学生であったのにはびっくりいたしました。女子学生は真面目に勉強するのですね。
- (7)平成15年の総会で宮崎君が幹事長を辞任し、後任に山田君(昭和45年卒)が就任しました。三役の年度が近かったために若返りを図ったのだと思います。
- (8)二年制の大学院ビジネススクールは、最初札幌経済センターにサテライトを置いてスタートしました。しかし、二期生が入学すると教室が手狭になるということで、今の場所に移転しました。新サテライトの良い点は①交通アクセスが良く、②土地の所有者が札幌市、③1・2階が紀伊國屋という本屋の上、④鉄道線路ギリギリの南側で、北大のテリトリーを侵さず、広さも前の場所の3.5倍、緑丘会札幌支部の部屋も作ってくれる絶好の場所でした。
- (9)加藤あかね君(平成22年卒)、よさこいソーランサークル翔楽舞の創設者です。前の年に祭を見て、次の年、平成20年にサークルを立ち上げました。これからも頑張ってください。
- (10)平成20年、緑丘囲碁クラブは春季知事杯争奪戦第一部リーグに於いて、Aチームが見事優勝を果たし頂点を極めました。今後も精進研鑽を重ねてください。

以上、「緑丘さっぽろ100号によせて」アラカルト風に綴ってみました。

100号によせて ～支部長時代の思い出

緑丘会札幌支部前支部長
田尾 延 幸
(昭和43年卒)



緑丘会札幌支部の皆様には昨年6月までの三期6年もの間、支部運営にご支援、ご協力いただきましたことを深く感謝申し上げます。

支部長就任時の大きな課題として、

1. 母校百周年記念募金活動
 2. 女性支部会員の増加
 3. 昭和世代の高齢化と平成世代の無関心に伴う支部会費納入率の低下
- がありました。

これらの課題について、まずはタブーを設けずに何でも挑戦し実施してみるという方針で臨みました。

百周年募金は横田前事務局長のご指導のもと、ご一緒に多くの企業を訪問させていただきました。ご協力いただきました企業様に感謝申し上げます。

女性支部会員の増加に伴い、女性副支部長として福井さんを専任にし、女子部会の活性化を図りました。また、平成世代にも緑丘会に馴染んでもらい参加者増大を図るという趣旨で、年2回実施される総会における新年交礼会の日程を2月11日(建国記念日であり、さっぽろ雪まつりの最終日)と固定化しました。

さらに、多くの支部会員が属している大型職域から参加いただくために、職域担当副支部長を札幌市役所OBの小山さんをお願いいたしました。

その他、総会において多くの参加者を集めるために以下のことを実施いたしました。

1. ゼミの先生を招待することでのそのゼミ所属の卒業生の参加
2. 運動クラブ単位でのOBの参加
3. 現役学生を招待し、緑丘会に学生時代から馴染んでもらいました

後半の総会では若手有志による様々な催しも実施されるようになり、不十分ではありますが昭和から平成への繋ぎが出来たように思います。私と共に6年間活動いただいた石本副支部長、赤井幹事長、事務局の皆様にご感謝申し上げます。

山田新支部長をはじめとする執行部のご活躍と、緑丘会札幌支部のますますの繁栄を祈念いたします。

会報と題字 —佐藤 満先生のこと—

浪田 美智枝
(昭和45年卒)

30年ほど前、会報「緑丘さっぽろ」は池田雄亮弁護士を編集長に横井久氏、島谷喜朗氏等錚々たる大先輩が担い、末席に私がいました。編集長は「会報は先ず会員が手に取り、読んでみようと思うものでなければならない。手始めに会報の題字を変えたい。」と提案し、了承されました。次に、池田先生は私に「題字を書け」とのことでしたが、題字の持つ意味を知る私は「私には出来ません」と即座にお断りしました。しかし、ことを先へ進めねばなりません。そこで、私は自分の師佐藤満先生の名前をあげました。先生は昭和24年卒の同窓生であり、当時、北海道書道界の要職にありました。私が先生に題字をお願いする役になりましたが、ご自身の研究、作家活動で多忙のため、この依頼が容易でないことはよく分かっていました。

意を決して先生のお宅へ伺い、「同窓会のため会報の題字をお書きいただけませんかでしょうか。」と一心をお願いをしました。沈黙という静かな時が流れた後、「いつまで」と仰って、お引き受け下さいました。そして、昭和61年の「会報28号」から題字が新しくなったのです。先生は芸術院会員、文化功労者であった鈴木翠軒先生の弟子であり、日展会友、北海道書道連盟理事長、北海道書道展理事長として書道界を率いてこられました。また、北海道文化賞受賞、毎日新聞のコラム「書のひととき」を長く担当下さいました。哲学、仏教を深く学び、豊かな学識に裏打ちされた先生の作品は練度の高い線で抒情豊かな

な世界を表出しています。これを端的に表しているのが以下の先生の文章です。ワーズワースの言葉「暮らしは低く思いは高く」を引き、次に「一遍上人はすべて(物的・外的なもの)を捨て尽くし、その果てに全て(根源にある真実)を獲た。」これを我々が学びたいこととする。哲学者九鬼周造は『いきの構造』で、「いき」を「垢抜けして(諦)、張りのある(意気地)色っぽさ(媚態)」と定義しているが、自分は「捨て果てた、高き思いへの姿態(表情)」と考え、「書作もかくありたい」と結んでいます。私もかくありたいと思い、先生の一文を大事にしています。



第2号

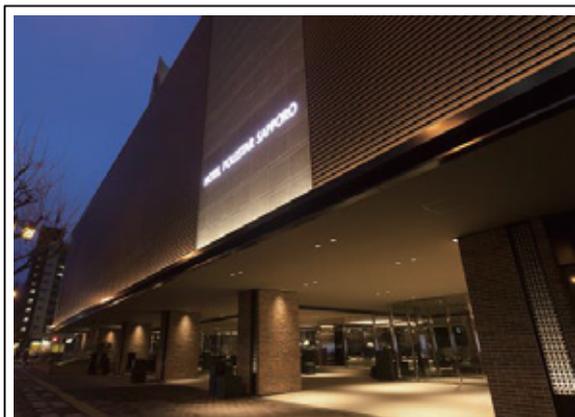


第28号



第53号

緑丘さっぽろ第1号を探しています。お持ちの方がいらっしゃいましたら、ご一報下さい。



宿泊・宴会・会合・婚礼・法要など
様々なシーンでご利用ください

快適な空間と質の高いサービスで皆様をお迎えいたします

— 館内のご案内 —

- 宿泊 197 室 ■ 各種ご宴会場 ■ Dining&Bar 179
- Garden Spa (大浴場・日帰り入浴もご利用いただけます)

北海道市町村職員共済組合宿泊施設



ホテル ポールスター札幌

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 (011)241-9111(代表)

※当施設は地方公務員法第42条(地方公務員の厚生制度)に基づく福利厚生施設です。

地方創生と小樽商科大学



小樽商科大学
前学長

山本 眞樹夫
(昭和47年卒)

緑丘諸兄姉の皆様、ご無沙汰をしております。昨年(2014年)3月末に学長を退任しましたが、やはり商大のことが気にかかってしかたありません。ただ、退任後、帯広畜産大学の監事(非常勤)をさせて頂いており、文部科学省高等教育関係の委員もさせて頂いている関係で、商大の情報もある程度知ることができ、今の商大の動きを頼もしく見えています。

昨年9月から「まち・ひと・しごと創生会議」の有識者メンバーとしての仕事もさせて頂いております。安倍内閣の目玉政策のひとつである地方創生の司令塔である「まち・ひと・しごと創生本部」におかれた会議で、石破大臣主宰でメンバーは全閣僚と12名の有識者から構成されます。北海道からの有識者メンバーは私ひとりであり、責の重さを痛感しています。

会議は首相官邸で行われ、この10月30日には第7回の会議が開催されました。毎回、有識者は1人3分程度の政策提言を行う機会が与えられます。その際のプレゼン資料作りが結構大変で、当初は、商大内に部屋を設けて頂き、職員の助けを借りて作成していました。私の提言は、一言で言えば「地方(北海道)経済の活性化と地方大学の役割」ということになるでしょうか。

小樽商科大学から帯広畜産大学へ行った当初、理系文化との相違にカルチャーショックを受けたと同時に、商大との連携に大きな可能性を感じました。北海道経済において農畜産業は決定的に重要です。十勝では大規模農業が行われていますが、商大と連携してブランディングやマーケティング、国際取引といった経営マインドを育成すれば、TPPを吹き飛ばす攻めの農業が展開可能と考えたからです。

昨年11月には産業競争力会議・新陳代謝イノベーション部会で、甘利大臣に上記の考えをプレゼンする機会を得ました。また、今年の11月には農林水産省農林水産技術会議が東京ビッグサイトで開催するアグリビジネス創出フェアで基調講演する機会を与えられました。

帯広畜産大学に行くようになったのは、偶然のことです。いまでは、商大と畜大の連携による北海道の農畜産業振興策の提言(全国的に言えば地方大学による地域経済の活性化策の提言)は、私のミッションのようになっています。緑丘諸兄姉の皆様には、今後とも応援をよろしくお願い致します。

夢を創造し、勇気をもって挑戦する。
Creative, Courageous & Challenging



世界の道と人を繋ぐITソリューションカンパニー
株式会社 シーズ・ラボ
http://www.cslab.co.jp/

本社：札幌市中央区北1条西7丁目3番 北一条第一生命ビル7F TEL：011-233-3820(代) / FAX：011-233-3933
東京オフィス：東京都品川区西五反田1丁目11-6 安藤ビル3F / いわきオフィス：福島県いわき市平六町目1-9 美良野ビル3F

私とゴルフ

北 市 久 淑
(昭和33年卒)

私の幼少期は虚弱体質で、小学校も1年遅れで入学するような体でした。体操の時間は運動場の壁際に立って見学することが多い状態でした。職業柄(公認会計士)仕事の関与先との付き合いもあり、37歳頃からゴルフに興味を持つ様になり、1972年に札幌国際CC(島松)の会員になりました。以来42年間でわがクラブ来場回数が3019回に達し、昨年5月に私の為に記念コンペを開催して頂き、その上豪華な記念品まで頂戴しました。

島松というクラブは、1968年から年間50回以上来場した会員に、翌年に記念品の贈呈と招待コンペをする制度があり、私の記録はクラブでカウントされたものです。恰もゴルフ三昧と思われそうですが、会計事務所を定年退職後の15年間で毎年100ラウンド以上を続けた結果です。42年間の内前半の27年は程ほどに仕事をしていましたので、念のため付け加えます。我がクラブには、2000回以上来場した方がほかに2名ほどおられます。

私の業務上の手帳には、ゴルフを始めて以来コースの名称と自分のスコアを記録しており、それを紐とくと島松以外のコースでプレーしたゴルフ場として、道内はもとより山形、茨城、千葉、大阪、広島、長崎、熊本、宮崎、沖縄、姉妹コースの福岡CC、府中CC、海外では、ハワイ、グアム、台湾、インドネシア、オーストラリア、カナダ、アメリカのニューヨーク、ロサンゼルスなど124コース955回、2014年末で合計すると3974回になります。これも偏に健康であることが大であります。特に印象に残るゴルフ場はカナダのバンフです。ショットがロッキーの山々に木霊して乾いた音が響くのです。

私のゴルフは中里、中村先輩のようなエージシュートなど輝かしいものではありませんが、幻のエージシュートがありました。これは一昨年の8月のことです。我がクラブの中川女子チャンピオンが、来るべきチャンピオン戦に備えて練習ラウンドを私の組に入ってプレーすることになり、私もレディスティを使用してプレーしたところ、38.42計80で回りました。調べてみると男子の場合は6000ヤード以上なければならないとのこと、我がクラブのレディスティの場合は残念ながら5800ヤードでした。

これからは、健康維持に配慮して、ゴルフ場に通うために不可欠な車の運転には最大の注意を払い、一緒にプレーしてくれる仲間を大切に、年間100ラウンドを目標に行きたいと思えます。

写真は、記念コンペでクラブから記念品を頂いたところを撮ったものです。



第9回 MBA交流会のご報告

緑丘会MBA会会長
佐藤 司(OBS8期・平成25年修了)

- 日 時：平成27年9月12日(土) 15時～
- 場 所：札幌プリンスホテル(国際館バミール5階)
- 参加者：大学院ビジネススクール(以下OBS) 教員4名、OBS修了生(1期～10期) 43名、OBS現役生(11期、12期) 11名
- 内 容：15:00 開 会
- 15:05 講 演 ・講演者：富士通株式会社 元代表取締役社長 黒川 博昭氏(OBS10期生)
- ・テーマ：「70歳でOBSに入学したわけ」
- 17:00 懇親会

10周年を迎えた緑丘会MBA会は、「強靱なOBSネットワークの創出」を目指して年間の最大イベントである「MBA交流会」を開催しました。

本交流会では、すでに300名を超えるOBS修了生の多様な活躍ぶりを紹介したいとの思いから、第1部「講演会」の講演者は、昨年の阿部眞久さん(OBS7期生)に続き今年も修了生である黒川博昭さん(OBS10期生)に務めていただきました。

富士通社長時代には数字ではないバランスシート(人材、顧客、精神)で戦ってきたなどの経営者としての貴重な経験談や、現在はOBSのビジネスプランニングで構想した事業計画の実現へ向けて合同会社商大グリーンツーリズムを設立し、南空知地域の魅力的なグリーンツーリズム情報の世界への発信準備に奔走されているとのお話から、大いなる刺激と勇気をいただきました。

第2部「懇親会」でも、南空知地域の銘酒とともに活発な情報交換を行うことができました。ご参加の皆さまの熱意により盛会となりましたことを厚く御礼申し上げます。



支部会費 Q & A

平成27年度支部会費 納入状況 平成27年11月30日現在

卒 年	会員数	納入数	卒 年	会員数	納入数
昭和13	3	1	昭和55	38	15
昭和14	1	0	昭和56	32	7
昭和16	5	2	昭和57	34	12
昭和17	5	2	昭和58	23	5
昭和18	8	0	昭和59	43	6
昭和19	9	1	昭和60	33	6
昭和20	10	4	昭和61	30	3
昭和22	5	2	昭和62	30	8
昭和23	25	7	昭和63	25	4
昭和24	12	3	平成 1	22	0
昭和25	22	11	平成 2	23	2
昭和26	11	5	平成 3	18	2
昭和28	23	12	平成 4	27	2
昭和29	28	18	平成 5	25	3
昭和30	34	14	平成 6	35	1
昭和31	38	21	平成 7	33	7
昭和32	41	25	平成 8	22	3
昭和33	32	21	平成 9	16	0
昭和34	34	23	平成10	15	2
昭和35	22	9	平成11	10	0
昭和36	28	13	平成12	16	4
昭和37	24	11	平成13	64	4
昭和38	32	12	平成14	64	7
昭和39	28	11	平成15	120	3
昭和40	31	16	平成16	55	4
昭和41	32	11	平成17	47	1
昭和42	29	3	平成18	46	4
昭和43	28	12	平成19	21	1
昭和44	24	6	平成20	30	2
昭和45	43	34	平成21	24	3
昭和46	33	8	平成22	20	0
昭和47	28	9	平成23	20	1
昭和48	30	10	平成24	36	3
昭和49	39	9	平成25	30	0
昭和50	27	8	平成26	42	2
昭和51	38	8	平成27	25	0
昭和52	34	8	小 計	2,193	523
昭和53	38	11	短 大	227	20
昭和54	65	15	大学院	26	7
			合 計	2,446	550

Q. 緑丘会会費と支部会費は違うのですか。支部会費は何に使われるのですか。

A. 緑丘会本部とは別に、札幌支部に入会された方には、年額3,000円をお願いしております。3年分で8,000円、5年分で12,000円とお得なまとめ払いもできます。
札幌支部は、会員相互の親睦を目的とし、この「緑丘さっぽろ」の作成・発送の他、新年交礼会や年次大会を開催しております。支部会費は、その運営活動費として使われます。

Q. 支部会費をしばらく払っていませんが…

A. 払いたい時が「会費納入元年」です。お気持ちのある時に、お願いいたします。

Q. 会費の納入方法を教えてください。

A. 次の4つの方法からお選びいただけます。

①郵便振込

指定の払込票をご利用ください。手数料はかかりません。

②コンビニ振込(新方式)

平成27年12月よりコンビニでご入金できるようになりました。指定の払込票をご利用ください。手数料はかかりません。

③銀行振込

北洋銀行、北海道銀行、札幌信用金庫でのお振込みが可能です。ただし、手数料はご本人負担となります。

④現金

支部事務局、また新年交礼会と年次大会の会場でも承ります。

詳細・ご不明な点は、支部事務局までお問合せください。

札幌支部の継続的な活動のため、ご協力宜しく願ひ申し上げます。

「地域で緑丘の集まりを持ちたい」と、新しい試みとして「地域会」が開催されました。少人数ながらも地元ならではの気軽さで新たな出会いもあり、同窓の輪が広がるきっかけとなりました。皆様も「地域会」を呼び掛けてみてはいかがでしょうか。



西野会



真駒内会

一つなげよう ひろげよう 緑丘ゆかりのお店の輪

五香飯店さま、ありがとう

鴨田 美抄子
(旧姓 久保・平成6年卒)

「智明寮追悼大寮生大会」の時



大盛中華丼は、
貧食寮生のお腹の
お供でした。
S56卒 八尾(富山)

「ウーシャンが来年6月に閉店らしいよ?!」そんな噂が飛び込んできました。学生の頃にみんなで行った「五香(ウーシャン)」。そこは、安くておいしくて、お腹いっぱいになる、私たち商大生にとって夢のようなお店でした。これは一大事! と思い、先輩と一緒にお話を聞きに行きました。

「五香飯店」は、昭和44年5月1日開業。当初は松竹ボウルの向かいにありました。ご主人によると、商大生は開店後すぐにお店を訪れたそうで、最初のお客さんは、空手同好会のキャプテンだったとか。当時、商大生はお店でよく飲んでいたので。なかでも対面式の後、北大商大両校の打ち上げでお店に来てくれたことが強く印象に残っているそうです。花園では何かとご迷惑をおかけする学生もいると思いますが、嬉しい事にご主人は、悪い印象を持ったことがないそうです。

商大生お好みのメニューは、焼きそば、チャーハン、餃子…最近では、から揚げや酢豚も仲間入り。この味に惚れこんだ学生はもちろん、大学の先生方も良く通うというくらい、お料理はどれも絶品です。

「そんな人気店が閉店?」…しかし、残念なことに噂は事実でした。

ご主人は、来年6月小樽運河マラソンの日にお店を閉めることは心に決めているそうです。ただ閉店を惜しむ声を聞くと「閉める時点」で、「健康であれば」移転し規模を小さくして続けたいという気持ちもあり、正直その時になってみないとわからないとのことでした。

お店を続けて欲しい気持ちはもちろんありますが、長年お世話になった「五香」のご夫婦には、健康で楽しく過ごしていただけることが一番です。いまは「おいしいお料理をありがとうございました。」の感謝の言葉しかありません。

たくさんの商大生の寄せ書きに囲まれた小上がり。この場所がなくなることは決定です。閉店まであと6ヶ月。みなさま、もう一度あのなつかしの小上がりに足を運んでみませんか?

(取材日 2015年11月5日 取材協力 S54卒 福井芙美子)



五香12時ハドル!
H6卒 阿部(仙台)

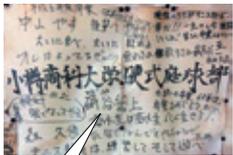
※【ハドル】アメリカンフットボールで、プレー開始前の作戦会議。気合を入れる儀式が行われることもある。
◀コトバンク▶



対面式後、
両校の打上げにて



美味しい餃子が食べたい
と思った時、いつも近く
に五香があった。
小樽は本当に幸せな街
だった。
H9卒 秋田(東京)



飲み放題付きで
2000円は最高でした。
鳥唐揚
つまかったな〜。
H7卒 研谷(札幌)



中華鍋の音
小上がりからの眺め
モチモチな餃子
商大生で、五香に会えて
幸せでした。
H10卒 安田(函館)

商大生 人気メニュー



H9卒、OBS1年次
石田さん撮影



H7卒 黒田さん撮影



仙台緑丘会さま
撮影



短大H6卒 木田さん撮影



H9卒 大坂さん撮影

『五香飯店』

小樽市花園1丁目11-2 0134(32)7825

営業時間 12:00~19:30

定休日 月曜日



寄せ書き差し上げます。
ぜひ、取りに来て下さい。



※支部HPにて
商大関係の寄せ書き公開中!

昭和40年卒業（シマル会）50周年記念行事



伊藤 裕 康
(昭和40年卒・40会名誉会長)

10月7日 エバーグリーン寄贈講座、戦没者慰霊塔参拝、学内見学、記念祝賀会

10月8日 親睦ゴルフ、余市小樽観光、札幌夕食会

小樽商大昭和40年卒業同期会は緑丘40会（シマル会）と称し、卒業20周年記念を第1回として、5年毎に記念行事を行ってきました。7回目の50周年記念でおそらく最後の記念行事になるとの思いがあり、今までにない大勢の皆さんの参加で盛会裏に終えることが出来ました。

昭和40年卒業者は総計180名です。残念なことに現在分かっている33名の物故者がおります。当初8月末時点での参加申込者は74名でしたが、健康上の理由などで、急遽取りやめた方などおり、最終的には66名の参加者でした。（うち物故者の奥様2名、同伴した奥様11名）卒業して50年経った今、3分の1以上の方が全国各地から集まったのですからすごい結束力と熱い青春時代の思いの表れだと感じました。また、この陰には音頭をとっていただいた東京、札幌のシマル会・岡崎会長・奥野支部長・藤田幸久・米田隆夫 両幹事長・幹事の皆さんのご苦勞に深く感謝いたします。

○エバーグリーン寄贈講座

我々の同期卒の千葉勝茂講師による三井物産で中国駐在12年間の勤務経験を生かした講演をいたしました。演題は「私が経験した中国と貴方たちが向き合っている中国」で商大生と我々を含めて300人の聴講生の前で約1年間構想を練っただけあって素晴らしい講義でした。

○記念祝賀会 於 グランドパーク小樽「銀河」

メイン・イベントの祝賀会には61名（ご逝去された須藤幸雄君、橋本和明君の奥様と7組のご夫妻）が参加しました。

矢野充彦幹事の司会で開宴、33名の同期物故者の御霊に黙祷をいたしました。

岡崎雄隆40会会長の挨拶があり、40会正式発足に至る経緯と提案者である谷尻正氏と前会長を労い、最後にエバーグ

リン寄贈講座の講師千葉勝茂氏に会長から感謝状が贈呈されました。

そして、緑丘会前理事長 齊藤慎二氏の乾杯の音頭で宴会が始まりました。

同期は芸人が多く、余興には事欠くことなく、皆さん素晴らしく年輪を感じさせる「出し物」でした。（塗師芙美子氏による詩吟「松島大漁之歌」、小野精司氏によるマジック、伊藤正昭氏による独唱「帰れソレントへ」）

その後、時間の関係もあり司会者の指名で一部の方の近況報告があり、40会北海道支部長 奥野勝政氏が中締めを行いました。恒例の元応援団 小原宗一郎氏のもと校歌斉唱、「若人逍遙の歌」を伊藤正昭氏が口上を述べ、指揮を執り斉唱をし、予定の2時間は瞬く間に過ぎていきました。一次会の幕を閉じ2次会カラオケ会場へ向いました。

2日目の10月8日は昨日の晴天から一転大型台風23号が釧路沖を目指して接近中、小雨まじりの強い風です。前途多難が予想されます。親睦ゴルフと余市・小樽観光については紙面の都合で割愛しますのでWebサイト「緑丘シマル会コミュニケーション・サイト」を見て下さい。

○札幌夕食会 於 コロポックル

最後のイベントはやはり「札幌すすきの」で45名の参加です。金沢昭雄幹事司会で開催、津山広行幹事から開会の挨拶、乾杯でスタート。スピーチはこの夕食会のみ出席の方、久しぶりに会った方、病氣克服後の方など、遠方から来た方など多数の方からの報告がありました。谷尻正氏の涙まじりの病氣との闘い、奥様への感謝の弁が印象的、また、親睦ゴルフ会の優勝者中井靖夫氏の奥様のスピーチもあり、大いに盛り上がりました。「50周年を最後にせず55周年も集まろう」との提案まで出ました。

そして2次会カラオケへと流れました。40会女子会員2人の高桑邦子さん、塗師芙美子さんの歌が聞けて良かったとのこと。

皆さんお互いに元気をもらい、青春時代にタイムスリップした2日間でした。ありがとうございました。 2015.11.20 記

卒業45周年記念同期会

甕 英 敏
(昭和45年卒)

昭和45年に緑丘を無事に卒業してから早くも45年が経ちました。この節目の年の9月2日・3日に、同期会を登別温泉、登別グランドホテルにて62名(奥様2名を含む)の参加をいただき、盛大に開催いたしました。

幹事の周到な準備にも関わらず、2日は札幌千歳方面が集中豪雨に見舞われたためJRが運休し、道外から参加の方の中には、千歳空港からタクシーで、また、函館から車を飛ばして参集するというハプニングが発生しましたが、熱い思いが功を奏し全員無事揃うことが出来たのでした。会は東京在住の平野さんの開会挨拶から始まりました。今の生活、緑丘の思い出で話が弾みましたが、やはり話題の中心は飲んでる薬の数自慢でありました。初参加の方の自己紹介やゼミ、クラブごとに壇上で当時の思い出話をする頃にはすっかり出来上がってしまいました。

「酔っても乱れず」、紳士淑女の集まりである我々は、集合写真を取り直して2次会の席に移動し旧交を暖め、翌日のゴルフに備えて早々と消灯したのでした。

さて、翌日のゴルフ参加者は32名、苫小牧の樽前ccに集合。昨日とは打って変わった晴天のもと爽快なプレイができました。とは言ってもバンカーはほとんど水没しており、豪雨のつめ跡がそこかしこに見られました。ダブルペリア、カット上限なしという人にやさしいルール採用の結果、東京組の畑谷さんが見事優勝、楽しい一日となりました。

卒業45年ともなれば、すでに、確認が取れているだけで26名の方が鬼籍に入られており、この先、元気で活動できる人が減っていくのはしょうがないことです。私どもは、次回5年後の50周年を一つの区切りにしようかとも考えていますが、どうなりますか。



卒業35周年記念同期会

大石 晴 也
(昭和55年卒 グリークラブ)

私達昭和51年入学生は、卒業35周年を記念して10月10日に同期会を開催しました。

5年前に卒業30周年記念同期会を小樽にて開催し、今回で2回目の同期会となります。

当日の参加者は44名。札幌以外に道内はもとより、東京、福岡、ロンドンなど遠方からの参加もありました。

ホテルの玄関前で集合写真を撮ったあと、私の司会により開宴が宣せられ、代表幹事で現在公認会計士の小川君より準備を進めてきた幹事の紹介と35周年同期会が盛大に開催されたことの挨拶がありました。乾杯の発声は、遠路はるばるロンドンから参加した英国勅許会計士の山脇知子さんが務めました。

祝宴に入り思い出話や近況など話が進んでいる中、ゼミやクラブ単位での参加者の紹介のあと、小樽を撮影したスライドの撮影会が始まりました。小樽駅、地獄坂、校舎周辺さらに花園銀座街などが映し出され、皆懐かしい思いに慕りました。

その後、商大グッズが当たるくじ引き大会を行い、さらに参加者全員に手作りの同期会のしおりと「運河っば」という名前のクッキーをお土産として配りました。今回は札幌開催でしたが、小樽にちなんだ演出で小樽を十分に満喫出来たのではないかと思います。

宴も盛り上がり、グリークラブの参加者による「校歌」などの演奏のあと、全員で輪になって腕を組み合い自動車部の横川君のエールにより「若人逍遙の歌」を斉唱しました。



中締め挨拶は自動車部の福井君がNHKアナウンサーとして落ち着いた重みのある口調で次回の参集を約し、末広がり縁起の良い「五本締め」をもって一次会が終了しました。

二次会は会場を同じくして、2時間たっぷり思い出話や近況などの話で盛り上がりました。

最後に、5年後の40周年記念同期会での再会を誓い、各々会場を後にしました。



緑丘ゴルフ会だより

●2015年度 緑丘会札幌支部 緑丘ゴルフ会 開催結果並びに成績表

開催回	日時(曜日)	会場	出席者数	優勝者(卒年)	準優勝者(卒年)
第1回	5月5日(祝・火)	茨戸カントリークラブ	17名	齊藤世司典 (昭和55年卒)	浅野 百樹 (昭和48年卒)
第2回	7月4日(土)	札幌国際ゴルフクラブ 島松コース	24名	河原木義治 (昭和42年卒)	新保 清志 (昭和55年卒)
第3回	8月12日(水)	ツキサップカントリークラブ	19名	高辻 哲哉 (昭和63年卒)	中村 正司 (昭和43年卒)
第4回	9月23日(祝・水)	札幌ゴルフ倶楽部 由仁コース	22名	甕 英敏 (昭和45年卒)	木下 浩一 (昭和58年卒)

囲碁の効用

札幌緑丘囲碁クラブ

効用の一番はなんと云っても認知症予防、即ち頭=右脳が使われるからです。

右脳は感性感覚に優れ、使うほど発達します。一方左脳は理論、言語を司りますが、年齢とともに衰えます。右脳の活性化は左脳をカバーすることにも繋がります。

この論理を以て「囲碁の腕前は一生上がる」とか…やめられません。

〈活動〉

- 5月10日(日) 13:00～ 定例会 大通囲碁センター 参加22名
- 9月13日(日) 13:00～ 定例会 大通囲碁センター 参加20名
- 11月 8日(日) 13:00～ 定例会 大通囲碁センター 参加23名
- 4月26日(日) 春季知事杯戦 一部リーグ 8位
- 9月27日(日) 秋季知事杯戦 二部リーグ 6位

〈話題〉

- 現役3年生、伊藤優真君が第59回学生本因坊を獲得。(8月10・11日) 母校としては初の快挙。最多は早稲田8回、東京・中央5回、北大1回など。
- 坂井恒俊さん(昭34) が第65回北海道囲碁選手権戦に旭川地区代表で出場。(10月3・4日)

新会員歓迎!! 何時でも誰でもどなたでも

連絡先 緑丘会札幌支部事務局

☎011-231-6900

ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

緑丘サテライトセミナー報告

緑丘サテライトセミナー副委員長

福井 郁子

(昭和57年卒)

9月26日第26回緑丘サテライトセミナーは、盛況のうち無事終了いたしました。

昭和39年卒 小樽北後志消費者協会会長 星功氏によるセミナー「知られざるアメリカ」～アメリカの世俗社会に浸る事43年の経験から～では、アメリカと日本の二つのパスポートをお持ちの講師により、文献にはあまり紹介されていないアメリカを色々な観点から知ることができました。

まず、「宗教」「自由」「国旗」「フロンティア精神」などの切り口から43年間の現地での貴重な体験を踏まえ、写真などを拝見しながらとても分かり易く学ぶことができました。また、アメリカでの「永住権」と「市民権」の違いなど実際にそのどちらもお持ちだった星氏による説明は、非常に説得力のあるものでした。日本とアメリカの年金制度や健康保険制度の違いについては、かなり具体的なお話を聞くことができました。年金の振り込まれる時期には為替相場が非常に気になるなど、現在日本に住んでいながらもグローバルな視

点が欠かせないようです。参加者は24名でした。

その後希望者を募り、星氏を囲んで昼食会を開催いたしました。こちらでは、千葉から参加いただいた金橋様をはじめとして14名の参加者の方々と有意義な時間を過ごす事ができました。

今後も、当緑丘サテライトセミナー委員会では、多様なセミナーを企画したいと思っております。皆様のご参加よろしくお願いたします。



女子部会報告

福井 芙美子
(昭和54年卒)

1. 色彩心理学セミナー： 塗り絵でハートのリラクゼーション

平成27年7月8日、色彩カウンセラーの昆野照美さん(昭和62年卒)を講師に、セミナーを開催致しました。参加は9名。終了後は懇親会を実施、親睦を深めました。



2. フェイスブックを通しての広報活動

小樽案内人自主研修など個々の報告を、フェイスブックを通じて発信し、女子部会活動の周知、呼びかけを行っております。

 女子部会の Facebook <https://www.facebook.com/OtaruUniv.OG>

3. 東京支部へ活動の紹介

平成27年6月26、27日、緑丘会本部より当支部女子部会の活

動について照会があり、池袋の本部を訪問、発足と経緯を説明して参りました。また、東京支部女子部会の発足会に招かれ、24名の方々と懇親を深めました。

4. 第3回クリスマス会

平成27年12月5日(土) 12:00 ~ 14:30

会場：TKPガーデンシティ札幌駅前

今年で3回目を迎えた有志の会と共催によるクリスマス会は、40家族63名(お子様20名)の方にお集まりいただきました。同窓の交流やおたるクイズ、お子様にはサンタからのプレゼントや子どもイベント企画と、楽しく和やかな時間を過ごしました。



平成27年度 エバーグリーン講座 日程

	講演日	講演者氏名	卒年・ゼミ・クラブ	講演テーマ	現職等
—	平成27年 9月30日	大津 晶 桶谷喜三郎		オリエンテーション	コーディネータ・緑丘会常務理事
1	平成27年 10月7日	千葉 勝茂	昭和40年卒	私が経験した中国と貴方達が向き合っている中国	岡芹法律事務所 顧問(中国室) 元三井物産(上海)貿易有限公司 総経理
2	平成27年 10月14日	星 功	昭和39年短大卒	私の体験したアメリカ社会：知られざるアメリカ	小樽後志消費者協会会長
3	平成27年 10月21日	佐藤 司	平成25年MBA卒	「地域メディアとしてのローカル放送局の役割」	札幌テレビ放送株式会社 総務局人事部長
4	平成27年 10月28日	堀内 康平	平成8年卒	「しごとのこと」	七十七銀行
5	平成27年 11月4日	渡部 猛	昭和46年卒	製造業における「物づくりの心」	松下電器、大阪市教育委員会
6	平成27年 11月11日	高本 淳子	平成12年卒	「挑戦が夢・目標を生み、想いを自覚させてくれた」	ダイゴ株式会社 商品アドバイザー
7	平成27年 11月18日	朝日 博昭	昭和54年卒	「私の履歴書」	株式会社ヤマチマネジメント ブランドソリューション部 ブランディング ディレクター クリエイティブ ディレクター
8	平成27年 11月25日	中村 弘治	昭和52年卒	外食産業における安全性への価値創造	株式会社イオンハート 代表取締役社長
9	平成27年 12月2日	辻 知秀	昭和37年卒	これからの日本と若者のパワー 問われる挑戦力	執筆業 日本経済新聞社 同社社友
10	平成27年 12月9日	山谷智恵子	平成9年度卒、 小田福男ゼミ、 基礎スキー部	仕事を遊びに。遊びも仕事に	株式会社アイム 専務取締役
11	平成27年 12月16日	鷲山 俊男	昭和42年卒	「少子高齢化が君たちに与える影響」	(株)FPプラザ・アイ21 代表取締役
12	平成28年 1月13日	竹村 隆宏	平成7年卒	アフリカビジネス最前線	味の素(東京) 課長
13	平成28年 1月20日	佐藤 盟信	平成7年卒	我が国の対アフリカ外交について	在タンザニア大使館 一等書記官/経済協力班長
14	平成28年 1月27日	佐藤 絵美	平成12年卒	私が今までの社会人生活から農業を仕事にするまでと今の農業	農業

新幹事 ご紹介

今年度より支部活動にご協力いただいている皆様をご紹介します。

左より、事務局助っ人の高橋真美さん(旧姓:黒田・平成7年卒)、年度幹事の研谷敦さん(平成7年卒)、広報委員の鴨田美抄子さん(旧姓:久保・平成6年卒)です。若手の旗手としてのご活躍を期待しております。どうぞ宜しくお願いいたします。



亡くなられた会員の皆様(平成27年5月～11月受付)

卒年	お名前	ご逝去日
昭和17年	若松 博	2014年12月22日
昭和18年	伏木 清明	2015年 5月 9日
昭和18年	齋藤 廣	2015年 1月13日
昭和19年	牧野 茂	2015年 8月 3日
昭和19年	北澤 利夫	2015年 5月12日
昭和20年	徳田 欣次	2014年 1月20日
昭和20年	和田 保	2014年11月19日
昭和23年	田内 清治	2013年12月13日
昭和24年	岩井 榮	2011年 1月11日
昭和28年	庄司 郁文	2015年 8月31日
昭和34年	田中 清司	2015年 4月 4日
昭和34年(短)	弓野 博	2012年
昭和53年	若松 令子	2015年 7月10日
平成15年	菅原 健一	2014年 9月18日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

緑丘の仲間で楽しく、ラン・フロ・ビアしませんか!

緑丘RUNNERS
(ランニングサークル)への加入
お待ちしております。
【お問合せ先】
gyu_0413@yahoo.co.jp
三宅(H6卒)まで。



つなげよう ひろげよう 緑丘の輪!! 若人逍遥券発行のお知らせ

今回、初の試みとして、商大の同窓生と商大生ゆかりのお店のご協力を得て、若人逍遥券を発行する運びとなりました。緑丘さっぽろ100号と共にお送りいたします。同窓の輪が広がるきっかけとなれば幸いです。

総務委員会

新しい同好会を立上げませんか?

身体と家庭に優しいパークゴルフは如何!!

思いのある方、
ご連絡は支部事務局へ



支部会費のコンビニ振替ができるようになりました!

これから会費を納入される場合は、ぜひご利用ください。

ご利用方法は、同送の会費案内でお知らせしております。



編 集 後 記

『緑丘さっぽろ』の発刊も今回で100号を迎えました。ひとえに緑丘会を支える皆様方緑丘人のおかげです。私も広報委員として数年、委員長としては横井支部長の誕生からスタートして田尾支部長、山田支部長と14～5年の時を数えました。その間、母校に於いては、山田学長、秋山学長、後輩ではありますが山本学長そして和田学長、又副学長の先生方に毎号のように、寄稿をお願いしてまいりました。ありがとうございました。各学長にはエバグリーン講座の世話もかねていましたので、年に3～4回顔を遭わす所為か、お願いし易かったのも事実です。最後に伝えたい事で、とっても残念で無念なことは、秋山学長が退官まもなく亡くなられたことです。ゴルフが大好きで、忙しい中、札幌支部の緑丘ゴルフ大会に参加いただき、楽しい時間を一緒にすごしました。学長の任期も終え、これから練習もプレーもおもいきり出来るようになり、春の第1回目の大会で後半のハーフを30台で回り、大変喜んでいた姿を今でも思い出します。とってもユーモアセンスにあふれた先生でした。

そして、もう一つの忘れられぬ事があります。初めて参列した平成14年8月15日の緑丘戦没者慰霊祭の時に秋山学長が話された、学徒出陣

で多くの学生が学問への思いを心に閉ざし、戦地等へ赴き、戦死されたお話でした。緑丘戦没者記念塔には学生、大学教職員347名の名が刻まれているとのこと、当時の一学年入学者数が150名程と聞いていますので、信じられない程の率で戦死された事になります。その無念さを学長は亡くなられた先輩たちに成り代わり、語られました。今でも胸に刻まれています。戦後生まれの私ではありますが「戦争はしてはいけない」の想いです。特に最近はその想いが強くなるばかりです。・・・秋山学長中心のお話になってしまいましたが戦後70年、『緑丘さっぽろ』発刊100号の記念にあたり、お許しください。100号発刊のためタイミングがずれてしまいましたが、遅ればせながら早く若い人にバトンタッチを願っています。ありがとうございました。

伊藤 光安(昭和45年卒 広報委員長)

緑丘会札幌支部

電話/FAX: 011-231-6900

ホームページ <http://www.ryokyukai.com/>

メール: ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp